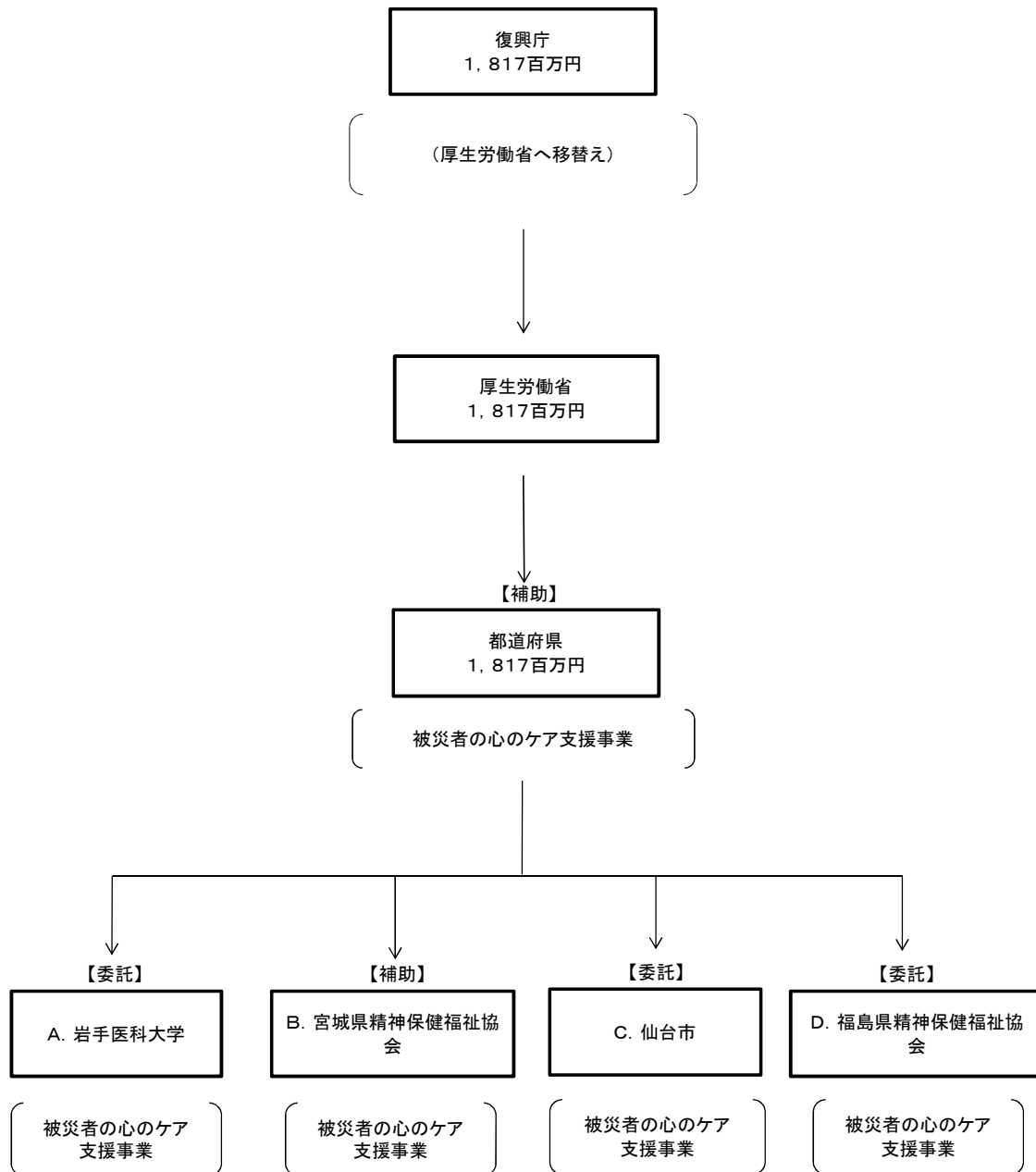


平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	精神障害者保健福祉対策(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年東日本大震災の発生直後より、被災者の精神保健面での健康支援(心のケア)のために、専門職種で構成する「心のケアチーム」が全国から派遣され、被災者の健康支援を行った。その後、徐々に活動を縮小し、被災地から撤退したが、震災によるPTSDやストレスは長期間継続することが過去の震災により明らかになっており、心のケアのニーズが強いことから、岩手、宮城、福島に「心のケアセンター」を設置し、保健師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士などの専門職種による、心の不調を訴える被災者の心のケアを行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	岩手県、宮城県、福島県において、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、被災者の心のケアのための相談支援等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		41		1,817	1,817	
		繰越し等				-		
		計		41		1,817	1,817	
	執行額			41				
執行率(%)			100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	・被災者の精神保健の向上(具体的な数値指標がないため、成果目標は記載困難)		成果実績			—		—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・3県にこころのケアセンターを設置		活動実績 (当初見込み)			( — )	( — )	(3県にこころのケアセンターを設置)
単位当たりコスト	25年度新規事業であり、24年度実績がないため記載できません。		算出根拠	—				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	被災者の心のケア支援事業	1,817	1,817	—				
	計	1,817	1,817					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東日本大震災発生後、被災者の心のケアが大きな課題として指摘されている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	心のケアにおける専門技術的分野から地方自治体に対し国が後方支援を行う。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	東日本大震災からの復興の基本方針における心のケアの支援体制であり優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	－		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	震災復興は国家的事業であり、国が負担すべきである	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当該事業の遂行に必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	－		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	被災者の心のケアの拠点施設として活躍しており、実効性が高い事業である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	本事業は、被災者の心のケアを実施するために必要不可欠なものであり、25年度に実施する必要がある。			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	被災者の心のケア支援のため、必要性の高い事業であり、引き続き適切な予算執行を進めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き適切な予算執行に努めていく。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年		平成24年
				47-3

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.岩手医科大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.宮城県精神保健福祉協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.仙台市			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.福島県精神保健福祉協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					